

contents

- ・病院長 新年のご挨拶
- ・副院長・患者支援センター長 新年のご挨拶
- ・年末年始の診療記録
- ・診療科紹介
- ・平成 27 年度病院年報刊行
- ・各種講演会のお知らせ
- ・院内コンサートのお知らせ



編集：杏林大学医学部附属病院
〒181-8611 三鷹市新川 6-20-2
Tel 0422-47-5511 (代表)

杏林大学病院

■ 新年のご挨拶

病院長 岩下 光利



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

いよいよ本年から地域医療構想策定ガイドラインの具体的な検討が各地域で開始され、多摩地区の拠点病院である当院では、高度急性期病院としてますます地域の先生方との連携を強化してまいりたいと思います。昨年 10 月には当院の登録医の先生方を対象に「杏林大学医療連携フォーラム」を院内で開催し交流を深めました。その際、参加された先生方から当院に対するご要望もいただきました。それに対応して院内の体制を整えるとともに、本年はさらに規模を拡大し、近隣の先生方との医療連携を深める企画を実施したいと考えております。先生方と一緒に、モデルケースになるような地域医療体制の構築を目指したく、なお一層のご支援とご協力を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

皆様にとって本年も幸多き年となりますようお祈り申し上げます。



副院長・患者支援センター長 塩川 芳昭



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は大変お世話になり、ありがとうございました。私ども杏林大学病院とさまざまな形で診療連携をお願いしております皆さま方に、あらためて日頃のあたたかいご支援に感謝申し上げます。

昨年 10 月開催の「杏林大学医療連携フォーラム」は、初めての企画ということもありまして当院の登録医の方々を中心にご案内しましたが、多くの先生方にご参加いただき、あらためて御礼申し上げます。当日は周辺 10 医師会会長の先生方からのご挨拶の中で、私どもへの具体的なご指導・ご指摘を多々拝聴し、大変得るところの大きい集いとなりました。「このような会が開催されるのを待望していた」、「登録医に限定せず地域の医療機関の幅広い参加を呼び掛けてほしい」、「いろいろな診療科のプレゼンや院内見学ツアーなどの企画を期待して

いる」といったご意見をいただき、本年秋、二回目となる会の開催に向けてさっそく準備を開始しているところでございます。

日頃の診療連携におきましても、先生方からの外来予約体制の円滑化や、ご紹介当日の受診が必要なすべての患者さんに迅速な対応ができるよう、院内の体制や意識改革を待たなしの気概で進めております。新しい年を迎え、皆様方とのより緊密な医療連携の構築をめざして決意も新たに組み込んでいきたいと存じます。本年も変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

— 年末年始の診療記録 —



昨年 12 月 28 日夕方から 1 月 4 日朝までの年末年始期間中に急病等で来院した患者さんは 1,505 人でした。

2016 年 12 月 28 日夕方～ 2017 年 1 月 4 日朝まで		
患者数 (人)	1,505	
救急車 台数	1・2 次	157
	3 次	24
3 次救急患者数 (人)	39	

診療科名	救急総合	内科系	外科系	精神神経科
患者数	588	127	25	8
診療科名	小児科	小児外科	脳神経外科	心臓血管外科
患者数	189	4	48	4
診療科名	整形外科	皮膚科	形成外科	泌尿器科
患者数	108	82	72	45
診療科名	眼科	耳鼻咽喉科	産科婦人科	SCU
患者数	72	95	21	17





◆ 呼吸器・甲状腺外科

東京西部地区の肺がん診療の中心として、呼吸器良性・悪性疾患における豊富な研究成果と臨床経験をもとに、高い水準の医療を実践し地域に還元していきます。また、良性疾患の気胸・嚢胞性疾患、縦隔腫瘍の診療と研究も実践しています。

胸部レントゲン写真異常陰影の精査は呼吸器内科、呼吸器外科どちらにご紹介頂いても結構です。また、気道

狭窄、膿胸、自然気胸、胸部外傷などにも対応しています。

肺がんに関しては、年間約 130 件の切除術を行っています。近年増えているご高齢の方や、複数の併存疾患を合併した患者さんに対しても、低侵襲な胸腔鏡手術などを含め積極的に治療に取り組んでいます。更に他科との連携を密にしており、患者さん中心のきめ細かい診療を行っています。

◆ 顎口腔外科

顎口腔領域に発生する疾患に対応しています。

診察日：月曜～金曜

1. 歯性感染症（歯性副鼻腔炎、歯周組織炎起因の蜂窩織炎、ビスフォスフォネート製剤関連顎骨壊死、外歯瘻など）
2. 顎関節疾患（顎関節症、顎関節脱臼）、口腔粘膜疾患（難治性口内炎、舌炎、舌痛症、口腔扁平苔癬、白板症、粘液のう胞、口腔カンジタ症）
3. 埋伏歯（埋伏智歯抜歯、過剰歯抜歯、埋伏歯萌出誘導）
4. 外傷（口唇・舌裂傷、歯冠・歯根破折、歯槽骨および顎骨の骨折）
5. 顎骨病変（顎骨のう胞、良性腫瘍）
6. 唾液腺疾患（口腔乾燥症、シェーグレン症候群、唾石症）
7. 口腔インプラント関連（インプラント埋入、インプラント前の自家骨移植術、不適合インプラント除去）
8. 全身疾患を有する患者の観血的処置（ビスフォスフォネート製剤、抗凝固薬、血小板凝集抑制薬などを投与されている患者さんの抜歯など）
9. その他（医科施設にて睡眠時無呼吸症候群と診断された方の口腔内装置の作成）

■平成 27 年度病院年報 2 月に刊行

病院年報では、外来診療実績、入院診療実績、患者満足度調査の結果や、医療の質・自己評価、各診療科の診療体制や患者構成、先進医療への取り組み、各部門の活動実績を掲載しています。

年報は医師会や地域の医療機関等へお届けしますが、HP でも閲覧できます。

三鷹市老人クラブ連合会との共催講演会

「超高齢社会と耳鼻咽喉科 - 声の老化を中心に」

当院では、三鷹市老人クラブ連合会と共に定期的に講演会を行っています。18 回目となる今回は、医師、言語聴覚士による声の老化に関する講演を行います。

講師：齋藤康一郎教授、間藤翔悟氏

日時：2月7日（火）14時～16時30分

場所：三鷹市教育センター 3階大研修室



桐朋学園による院内コンサート予定

日程：4月8日、7月8日、10月14日、12月9日（各土曜）

時間：15時30分～16時30分

場所：外来棟 1階ロビー

※入場無料・申込不要



医師対象 緩和ケア研修会

講義、ワークショップ、ロールプレイ等を通して、緩和ケアの基本を修得します。

日時：2月4日（土）12時30分～20時

5日（日）8時30分～17時

場所：外来棟 10階 会議室等

主催者：当院がんセンター長 古瀬純司

企画責任者：国立病院機構災害医療センター

麻酔科 窪田靖志医師

申込方法：HP から申込用紙をダウンロード

※詳細はHP をご覧ください

問合わせ：庶務課 0422-47-5511（代表）

「がんとともに健やかに生きる」 - 講演会・語らいの場 -

患者さんご本人や家族、友人、がんになった時のことが心配な方など、どなたでも参加いただけます。

【日程・テーマ】 ※参加費・予約不要

2月25日（土）ストレスとともに生きる

3月11日（土）がん治療を乗り切るための食事の工夫

時間：13時30分～14時30分（講演会）

14時45分～15時45分（語らいの場）

場所：第2病棟 4階 大学院講堂

*最新情報はHP「がんセンター」ページをご覧ください